

科目名 (科目番号)	感染と予防 (時間割参照)	教員名 桜井直美	学科等	理学療法	必修	履修年次	2
			曜日・時限等	時間割表参照	単位数	1	
			授業形態	講義	オフィスアワー	非常勤講師	
授業概要	人間に感染症を起こす病原微生物について基礎的な知識を学び、さらに感染症対策の基本を習得する。次いで、人々を病原微生物の感染から守るための基礎知識・技術を学び、さらに院内感染の予防と対策について学ぶ。						
目的・目標	目的: 医療職として重要な感染予防と感染拡大防止に関する基本的な内容を理解し、実践に活用する。 目標: ①感染の成立、感染症の発症、感染拡大に至る経緯を理解できる。 ②感染予防に重要な手指衛生や器具の消毒について理解し、正しく実践できる。 ③リハビリテーションに特有な感染に関する問題を把握し、正しく対応できる。 ④感染拡大防止に係る制度、法律を理解できる。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	感染と感染症	到達目標: 感染の成立、感染症の発症に至る要因を理解する。 学習内容: 感染や感染症の意義、発症要因などを学習する。				
	2	感染予防(1)	到達目標: スタンダードプリコーションや手指衛生の5つのタイミングについて理解を深める。 学習内容: 感染予防の基本的概念を学習する。				
	3	感染予防(2)	到達目標: 手洗いの意義と手洗い手法、手洗いの問題点について理解する。 学習内容: 感染予防として重要な手技である手洗いについて実践を交えて学習する。				
	4	感染予防(3)	到達目標: 感染経路別予防策について理解を深める。 学習内容: 様々な感染経路とその予防策について学習する。				
	5	滅菌と消毒	到達目標: 滅菌法と消毒法の重要性について理解を深める。 学習内容: 環境中に存在する様々な微生物を除去する方法である滅菌法と消毒法について実践を交えて学習する。				
	6	リハビリテーションと感染予防策	到達目標: リハビリテーションにおける感染予防の重要性を理解する。 学習内容: リハビリテーションにおける感染予防の考え方を学習する。				
	7	感染予防対策のまとめ	到達目標: 院内感染を防ぐための、行政の取り組みや法律などについて理解を深める。 学習内容: 感染症法、医療法などの法律や医療機関での取り組みを学習する。				
	8	総合まとめ	到達目標: 前回までの授業内容を総括して、感染制御の課題を解決する。 学習内容: 実際のリハビリテーションで使用する場所の状況から、感染対策上問題のある箇所を指摘して改善する課題に取り組む。				
成績評価の方法・基準	対面時: 期末試験(80%) + 小テスト・レポート(20%) オンライン時: レポート(30%) + 期末試験(70%)						
教科書	微生物学・感染看護学		岡田忍他編		医歯薬出版		
参考図書	系統看護学講座 微生物学		南嶋洋一、吉田真一著		医学書院		
教員からのメッセージ	毎回資料を配付します。基本的な内容を学習しながら現場の問題点を意識し改善につなげられるように学習しましょう。授業ごとに学習内容確認のための小テストを実施します。また、最終回には学習した内容を総合的に活用するレポートを課します。ICD(Infection Control Doctor)の資格を持ち、医療現場で実践経験のある教員が担当します。						